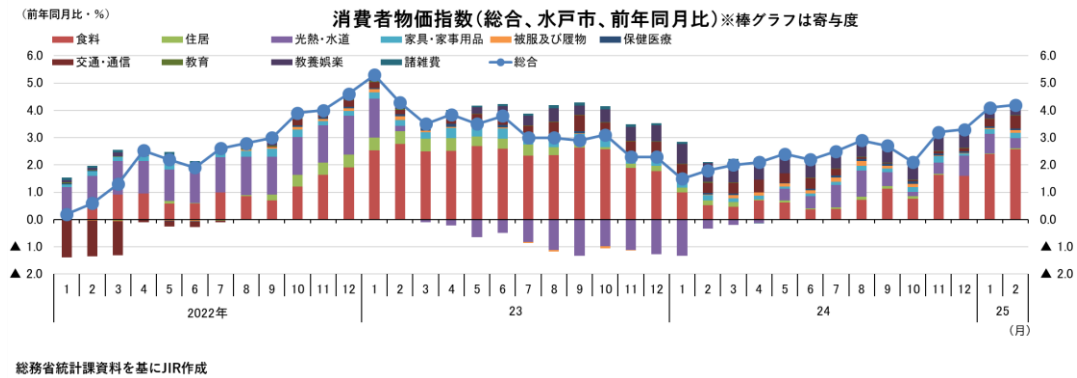


県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している

< 今月のポイント >

- 県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している。
- 総合判断及び各項目の基調判断は据え置き。雇用情勢は、ハローワーク経由の有効求人倍率が概ね横ばいで推移しているものの、人手不足を背景に民間職業紹介が底堅く推移していることなどを踏まえ「持ち直している」との判断を据え置いた。
- 24年以降の消費者物価指数（総合・水戸市、前年同月比）をみると、様々な部門で価格転嫁が進んでいることに加え、同年11月以降は、米や野菜などの価格高騰を背景に食料価格が押し上げられていることから、全体でも上昇傾向が強まっている。
- 先行きは物価高や株価、賃上げの動きが企業や家計にもたらす影響、為替動向、米トランプ政権の政策を含む海外経済の行方、日本政府による経済政策の行方、政策金利をはじめとする国内の金融環境の変化の影響などに注視する必要がある。



< 基調判断・天気図 >

	基調判断				
	前月からの 変化	2025年4月調査	25年2月調査	25年3月調査	25年4月調査
総合判断	➡	一部に弱さがみられるものの、 総じてみれば持ち直している			
生産活動	➡	弱めの動きとなっている			
設備投資	➡	持ち直している			
住宅投資	➡	弱めの動きとなっている			
公共投資	➡	持ち直している			
個人消費	➡	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している			
雇用情勢	➡	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況			

◆基調判断に添えた矢印は方向感を、天気図は水準を示します。
◆基調（動向）判断の表現方法（イメージ）は、「各指標の動向判断の推移」7頁の図の通り。

生産は弱めの動きとなっている

1月の鉱工業生産指数（2020年＝100、季節調整値^{※1}）は100.7、前月比0.4％減と2か月連続で低下した。業種別の内訳について前月比での寄与度順にみると、輸送機械（同21.1％増）、電気機械（同9.6％増）等が上昇した一方、化学（同6.1％減）、非鉄金属（14.8％減）、プラスチック製品（同6.0％減）、汎用・業務用機械（同3.6％減）等が低下した。

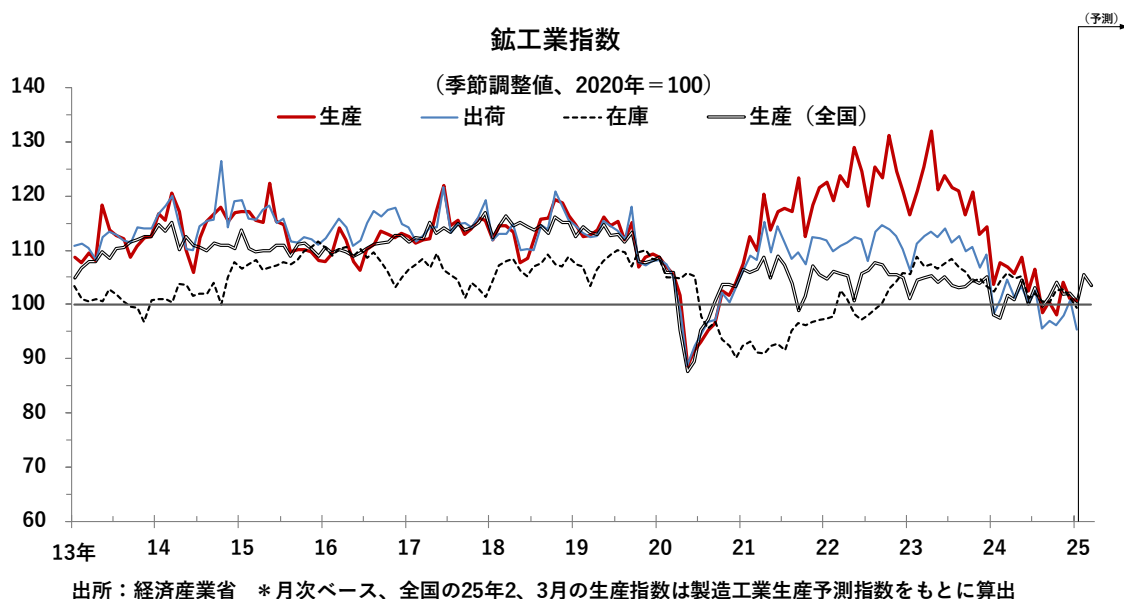
企業ヒアリング（3月）では、「（取引先である）自動車メーカーの新車販売が好調で、若干ながら増産も見込める」（輸送用機械）との明るい声が聞かれた一方で、「昨年末より取引先の中国向け部品の生産調整があり、売上高の減少と生産計画の変更を余儀なくされた」（汎用・業務用機械）、「メイン取引先以外からの受注が伸び悩み」（化学）など、生産・受注の伸び悩みを指摘する声が目立った。また、「野菜原料の高値により、売上高は増えたが利益は大幅減少」（食品加工業）など、価格転嫁が進む中でも、引き続き採算面で苦慮する声が複数聞かれた。

以上を踏まえ、生産は「弱めの動きとなっている」との判断を据え置いた。先行きについて、当社の企業調査（24年12月）をみると、25年1-3月期の生産判断DI^{※2}は、24年10-12月期比1.4pt減と概ね横ばいの見通し。もっとも、海外経済や為替市場の動向に加え、米トランプ政権による通商政策が輸出関連企業などにもたらす影響については、引き続き注意が必要とみられる。

なお、外需に関係する貿易面についてみると、1月の茨城県内税関3支署の輸出額は1,703億円、前年同月比5.5％減と6か月連続で前年水準を下回った。鹿島は、鉄鋼（同15.6％減）が減少したものの、石油製品（同128.3％増）などの増加により同11.9％増、一方、日立（日立港・常陸那珂港）は、主力の建設用・鉱山用機械（同38.2％減）、自動車（同14.1％減）がともに減少し、同13.5％減であった。

※1：原数値から季節的要因を調整した数値

※2：前年比で生産の「増加」と「減少」との回答割合の差



設備投資は持ち直している、住宅投資は弱めの動き、公共投資は持ち直している

民間設備投資についてみると、1月の建築物着工床面積（民間非居住用）は工場や倉庫などの減少により51千㎡、前年同月比73.5%減と2か月連続で前年水準を下回った。

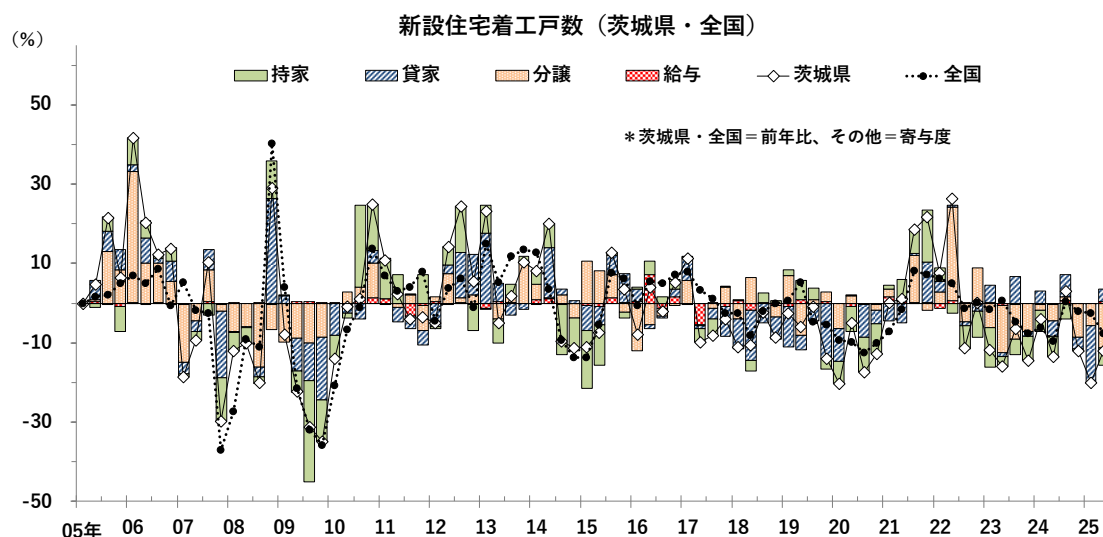
一方、水戸財務事務所の「法人企業景気予測調査（1-3月期調査、茨城県）」によると、県内企業の24年度の設備投資額※は、全規模・全産業ベースで、前年度比18.1%増（うち製造業が同35.8%増・非製造業が同1.2%減）、25年度は前年度比26.0%増の見通しとなっている。同調査からは企業の投資意欲は底堅く推移しているとみられることから、設備投資は「持ち直している」との判断を据え置いた。

1月の新設住宅着工戸数は1,076戸、前年同月比21.2%減と9か月連続で前年水準を下回った。内訳をみると、持家は484戸、同3.6%増と2か月振りに増加、貸家は410戸、同6.2%減と6か月連続で減少、分譲住宅は177戸（うち分譲マンション0戸）、同61.7%減と8か月連続で減少した。住宅投資は、主力である持家の着工戸数が増加したものの水準は低く、貸家や分譲の低迷も長期化している。住宅価格上昇に加え、住宅ローン金利上昇により住宅購入マインドは引き続き弱いとみられることから、住宅投資は「弱めの動きとなっている」との判断を据え置いた。

2月の公共工事請負金額は184億46百万円、前年同月比43.5%減と5か月振りに前年水準を下回った。内訳をみると、国、独立行政法人等、県、市町村のいずれも減少した。公共投資は、2月単月では大幅減となったものの、24年度累計（24年4月～25年2月）では前年同期比8.4%増と堅調に推移していることを踏まえ、「持ち直している」との判断を据え置いた。

なお茨城県の当初予算案をみると、25年度の公共事業費は1,105億70百万円（前年度比0.4%増）、24年度最終補正予算に計上予定の国の国土強靱化対策対応分を加味した金額は1,426億10百万円（同1.6%増）と、ともに概ね横ばいの見通しとなっている。

※ソフトウェアを含む（除く土地投資額）



出所：国土交通省 * 四半期ベース、25年1Qは1月のみの数値

個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している

2月の乗用車販売台数（乗用車新規登録台数＋軽乗用販売台数）は9,425台、前年同月比18.5％増と、2か月連続で前年水準を上回った。内訳は普通乗用車が同5.8％増、小型乗用車が同36.2％増、軽乗用車が同27.7％増であった。

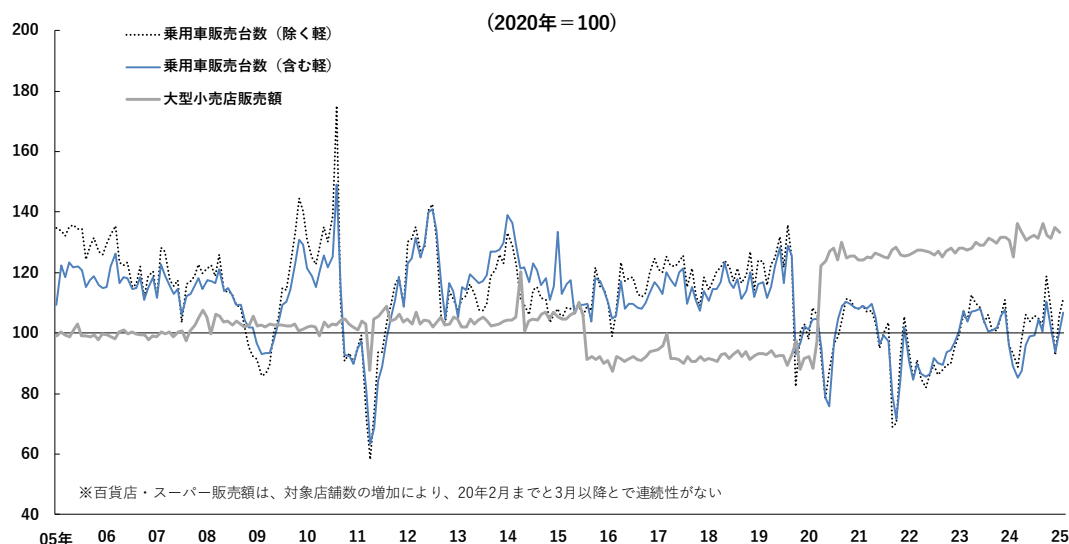
1月の百貨店・スーパー販売額は、全店ベースで前年同月比1.1％増、既存店ベースは同1.1％増と、ともに3か月連続で前年水準を上回った。専門量販店販売額は、家電量販店が同5.2％増と14か月連続で前年水準を上回った。ホームセンターは同1.1％増と3か月連続で前年水準を上回った。ドラッグストアは3.4％増と45か月連続で、コンビニエンスストアも同3.8％増と9か月連続で前年水準を上回った。

1月の家計消費支出（2人以上の勤労者世帯・水戸市）は、教養娯楽や教育などの支出が増加したことにより、前年同月比0.4％増と、小幅ながら4か月連続で前年水準を上回った。消費マインドに関して、2月の「景気ウォッチャー調査－北関東－」をみると、家計動向関連DI(現状判断)は44.6、前月比2.1pt増と、判断の目安となる50を11か月連続で下回ったものの、3か月振りに上昇した。

企業ヒアリング（3月）では、観光・サービス分野で「宿泊予約・販売ともに伸びている」（宿泊業）との声が聞かれた一方、「消費者の生活コストが上昇傾向にあるため、家電等の耐久消費財は買い控えられている印象」（家電量販店）、「足もとの業況は横ばい。農作物の生産出荷状況（不足）による単価高騰が（消費マインドに）影響している」（青果卸）といった声も聞かれた。

このように、個人消費は、物価高による消費者の買い控え等の影響を受けつつも、供給サイドの販売動向は引き続き堅調であることから、「一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している」との判断を据え置いた。先行きについては、賃上げなどによる所得環境や消費マインドの改善の行方について、引き続き注視する必要がある。

乗用車販売台数、百貨店・スーパー販売額



出所：茨城県自動車販売協会、経済産業省 * X-13-ARIMAによる季節調整値、月次ベース

雇用情勢は持ち直している—労働需給は引き続きタイトな状況

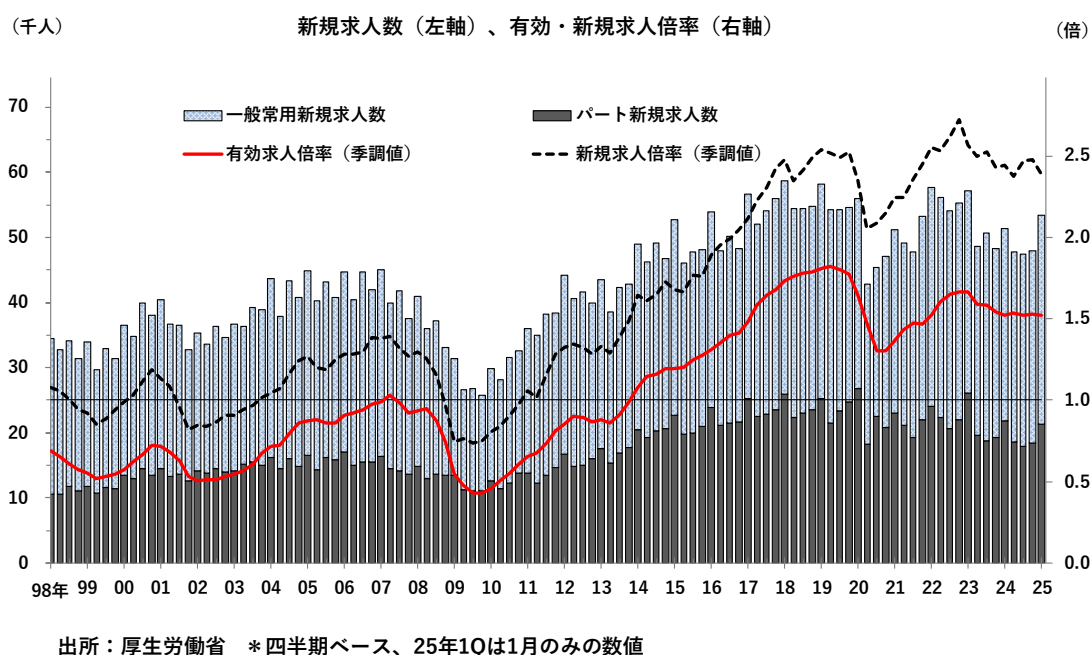
1月の雇用関連指標（ハローワークの求人対象）は、有効求人倍率（季節調整値）が1.32倍、前月比0.01pt増と4か月振りに上昇した。新規求人倍率は2.04倍、前月比0.20pt減と3か月振りに低下した。就業地ベースでの有効求人倍率は1.52倍であった。

新規求人数は17,809人、前年同月比4.2%減と2か月振りに前年水準を下回った。新規求職者数は8,255人、同3.1%減と6か月連続で前年水準を下回った。新規求人数（パートを除く）の内訳を産業別にみると、学術研究、専門・技術サービス業（同56.1%増）、サービス業（他に分類されないもの）（同16.4%増）、卸売業・小売業（同13.7%増）などが増加した一方、情報通信業（同38.5%減）、運輸業・郵便業（同28.6%減）、宿泊業・飲食サービス業（同19.5%減）、製造業（同9.3%減、25か月連続の減少）、建設業（同9.1%減）、医療・福祉（同0.5%減）、などが減少した。

一方、県内の広告求人件数が前年水準を上回って推移しているなど、人手不足を背景に、民間職業紹介における県内の求人動向は総じてみれば底堅く推移している。

失業者を示す雇用保険受給者数は7,949人、前年同月比1.1%減と2か月振りに前年水準を下回った。このように雇用情勢は、ハローワーク経由の有効求人倍率が概ね横ばいで推移しているものの、民間職業紹介の状況などを踏まえ、労働者側から見て「持ち直している」との判断を据え置いた。

なお、なお連合が公表した25年春闘の第1回回答集計（3月14日時点）では、平均賃上げ率は5.46%（34年振りの高水準）、300人未満の中小組合の賃上げ率も5.09%（33年振りの高水準）となった。全国的に大企業から中小企業への賃上げの波及の動きが見られる中、県内企業がどのような対応を図るのが注目される。



茨城県経済動向 基調判断の推移

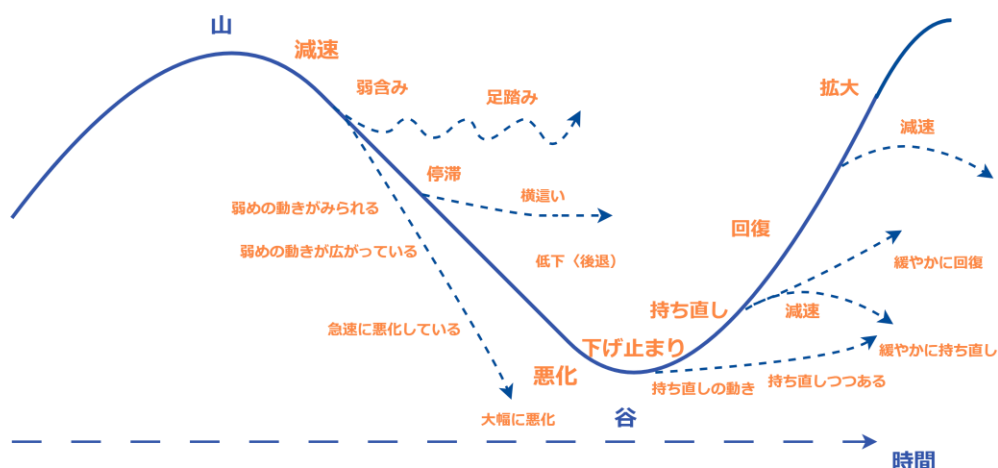
		基調判断
2021	7	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	8	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	9	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	10	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	11	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	12	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
2022	1	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、持ち直しの動きがみられる
	2	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、持ち直しの動きがみられる
	3	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により、持ち直しの動きが一服している
	4	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により、持ち直しの動きが一服している
	5	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	6	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	7	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	8	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	9	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある
	10	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある
	11	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	12	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
2023	1	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	2	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	3	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	4	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	5	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	6	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	7	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	8	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	9	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	10	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	11	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	12	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
2024	1	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	2	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	3	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	4	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	5	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	6	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	7	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	8	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	9	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	10	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	11	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	12	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
2025	1	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	2	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	3	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している

各指標の動向判断の推移

		生産	住宅	設備投資
2024	2	横ばい圏内で推移している	弱含みにある	持ち直している
	3	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	4	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	5	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	6	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	7	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	8	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	9	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	10	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	11	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	12	弱めの動きとなっている	弱含みにある	持ち直している
2025	1	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	2	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	3	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している

		公共投資	個人消費	雇用
2024	2	持ち直しの動きに足踏みがみられる	緩やかに回復している	横ばい圏内で推移している
	3	持ち直しの動きに足踏みがみられる	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	横ばい圏内で推移している
	4	持ち直しつつある	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	横ばい圏内で推移している
	5	持ち直しつつある	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	横ばい圏内で推移している
	6	持ち直しつつある	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直しの兆しが見られる
	7	持ち直しつつある	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直しの兆しが見られる
	8	持ち直しつつある	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直しの兆しが見られる - 労働需給は引き続きタイトな状況
	9	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直しの兆しが見られる - 労働需給は引き続きタイトな状況
	10	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	11	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	12	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
2025	1	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	2	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	3	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況

基調判断・動向判断の表現方法（イメージ）



「茨城県経済動向」は旧常陽地域研究センター（常陽アーク）が
1969年より継続してまいりました月例調査を、
2019年4月以降、常陽産業研究所が継承・実施しているものです

表紙の通番は常陽アーク時の通番を引き継いでおります

常陽産業研究所

地域研究センター

- ・本資料は、当社が独自に集計・入手しているデータを除き、2025年3月24日現在で公に利用可能な統計指標に基づき作成されています。
- ・公開されている統計指標は、過去に遡及して改訂されることがあります。
- ・統計指標を利用する際は、常に最新の公表資料を参照する必要があります。
- ・本資料は、統計指標とそれに基づく判断が正確であるよう最善を尽くしておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料に示した将来に関する全ての記述は、現時点での判断を示しているに過ぎません。